

## 徳島県版予防教育（徳島県）

**【概要】**

児童生徒の対人関係能力の向上や自尊感情及び他者を思いやる心等の育成を図り、いじめ等の問題行動や自殺につながるおそれのある心身の病気等の予防を目的として、「徳島版予防教育」を実施する。主に小・中学校を対象に、大学と連携して「本当の自己肯定感を育成する」ための学習をワークショップ形式で実施することにより、児童生徒が自己存在感を感じ、互いに肯定的な評価をする中で共感的な人間関係を育むことを目指している。

**【大綱の分類】**

- 2) 国民一人ひとりの気づきと見守りを促す
- 4) 自殺対策に係る人材の確保、養成および資質の向上を図る
- 7) 社会全体の自殺リスクを低下させる
- 11) 子ども・若者の自殺対策を更に推進する

**【政策パッケージ分類】**

- 重点1-1いじめを苦しめた子どもの自殺の予防
- 重点1-2若者の抱えやすい課題に着目した学生・生徒等への支援の充実
- 基本2-3学校教育・社会教育に関わる人への研修
- 基本4-1居場所づくり活動
- 基本5-1SOSの出し方に関する教育

**【事業実施年度】** 2020年度事業（2019～2020継続）

**【事業予算】** 285,000円

**【利点】**

- ▼ 予防教育プログラムをワークショップ形式で実施することで、児童生徒が自己存在感を感じ、互いに肯定的な評価をする中で、共感的な人間関係を育むことができる。
- ▼ 児童生徒の自尊感情を育むことで、いじめ等の問題行動や心身の健康に関する問題等の発生の未然防止を図ることができる。
- ▼ 「徳島版予防教育」の実践を重ねることで、自他の命を守ることができる児童生徒を育成することができる。

**【実施に至るまで】****事業をスタートした背景**

- ① いじめが原因とされる児童生徒の自殺事案が全国で毎年起き、いじめ問題は大きな社会問題となっている。本県においても、いじめの認知件数は年々増加しており、いじめの未然防止や早期発見・早期解決の取組が重要な課題となっている。また、不登校の児童生徒の数も年々増加しており、児童生徒が健やかな成長を遂げるためにも、不登校は早急に改善すべき喫緊の課題となっている。
- ② 幼い子どもの命が保護者によって奪われる児童虐待事件が全国で発生し、児童虐待数も年々増加するなど、子どもたちの大切な命が脅かされる憂慮すべき状況が続いており、その対策が急務となっている。

**計画を立てる上での工夫**

- ① 鳴門教育大学と連携し、予防教育科学センターが開発した予防教育プログラムを活用した。

- ② 予防教育を実践する教員に対し、教材や指導案の作成等について予防教育センターの講師によるサポートの提供を行った。
- ③ 教職員向けの「予防教育研修会」を実施し、徳島版予防教育の内容や実施方法について周知・啓発と指導助言を行った。

**具体的な内容**

- ▼ 事業を希望する学校に、予防教育科学センターの講師による授業実施サポートの提供、学校への講師の派遣等を行い、当該学校の教員が教育プログラムに沿った授業を行う。
  - ・ 教育プログラムは小学校2年生から中学校3年生を対象にした3種類あり、実施時間はいずれも4時間単位となっている。
- ▼ 学校等へ啓発
  - ・ 実践校の取組について、県教委人権教育課のホームページに掲載したり、リーフレットやチラシにまとめて配付したりするなど周知・啓発に取り組んでいる。

**【成果】**

- ▼ 実践校からは、児童生徒が自己肯定感を高め、前向きに学校生活をおくることができるようになったという報告が多くあった。
- ▼ 児童生徒の自律性と対人関係性等が育成されることにより、いじめや自殺等の問題行動や心身の健康に関する問題等の発生の予防、心と行動の健全化を図ることができた。
- ▼ これまでにのべ40校を超える実践校があり、昨年度も新規実践校が3校あるなど、多くの児童生徒の心の教育に資することができた。

**【補足】**

▼ 広報用チラシ

いのちを守る子どもサポート事業

**「徳島版予防教育」**

【対象学年】 公立小学校2～6年生、中学校1～3年生

【教育プログラム】 『**本当の自己肯定感の育成**』

今年度の徳島版予防教育では、教育プログラムを『本当の自己肯定感の育成』に絞って実施します。これまでの自己肯定感の育成を『自分肯定感』で、他者を尊敬でき、その上で自分のやりたいことをやることで『子どもたちにとって本当に大切な自己肯定感』を正しく育成することを目的とします。

【実施方法】

○事業を希望する学校に、予防教育科学センターの講師による授業実施サポートの提供、学校への講師の派遣等を行い、当該学校の教員が教育プログラムに沿った授業を行う。

○教育プログラムは以下の2種類から選択する。実施時間はいずれも**4時間**、今年度より小学校2年生のプログラムが追加されました。

A 小学校2年生又は4年生を対象のプログラム(各半年間別プログラム)

B 小学校5年生～中学校3年生を対象のプログラム(各半年別プログラム)

※ Aの実施は9月から、Bは4月から実施可能。

○教材は実践校で作成するほか、授業会等が予防教育科学センターにおいて、講師の指導助言を受けて作成する。

○授業を実施する学校に対し、実施前に以下のDVDを貸し出します。  
①予防教育の理論の説明DVD(約20分) ②実践の説明DVD(約40分)  
③教材や授業進行ファイルなど授業実施に必要な材料が入ったDVD(4時間分)

○学校の状況に合わせて、追加、総合的な学習の時間、特別活動等の授業で実施する。

**児童生徒のいじめ等の問題行動や心身の健康に関する問題等の発生の予防に資する**

※ぜひ一度、お問い合わせください。

<お問い合わせ先>  
〒770-8570 徳島市万代1丁目1番地  
徳島県教育委員会人権課平賀 いじめ対策等対策室  
TEL 088-671-3135 FAX 088-671-2885

▼ 活動紹介リーフレット

～今年? 5年生 徳島版予防教育の取組より～

**藍住北小学校の取組 ～あいさつスマイルstudy～**

藍住北小学校では、3年生～6年生の各学年において、全4月間プログラムで予防教育を実施しました。その中から、4年生～5年生の学習の様子をご紹介します。  
※本校は他校同様、今年5月実施が対象学年(5年生)の取組となります。

☆4年生の予防教育

【授業のようす】

(第1回) みんなのまわりがハッピー  
と褒められ、字が得意になったこと、褒められたことについて発表しました。

(第2回) みんなのまわりがハッピー  
と褒められ、自分の得意なことを褒められ、褒められる姿を見てみよう!  
(第4回) みんなのまわりがハッピー  
と褒められ、まわりについて考えました。

学習内容

【授業の様子】

① 授業の様子(1) ② 授業の様子(2) ③ 授業の様子(3) ④ 授業の様子(4)

⑤ 授業の様子(5) ⑥ 授業の様子(6) ⑦ 授業の様子(7) ⑧ 授業の様子(8)

⑨ 授業の様子(9) ⑩ 授業の様子(10) ⑪ 授業の様子(11) ⑫ 授業の様子(12)

【授業の感想】

⑬ 授業の感想(1) ⑭ 授業の感想(2) ⑮ 授業の感想(3) ⑯ 授業の感想(4)

⑰ 授業の感想(5) ⑱ 授業の感想(6) ⑲ 授業の感想(7) ⑳ 授業の感想(8)

【授業の感想】

⑳ 授業の感想(9) ㉑ 授業の感想(10) ㉒ 授業の感想(11) ㉓ 授業の感想(12)

⑳ 授業の感想(13) ㉔ 授業の感想(14) ㉕ 授業の感想(15) ㉖ 授業の感想(16)

㉗ 授業の感想(17) ㉘ 授業の感想(18) ㉙ 授業の感想(19) ㉚ 授業の感想(20)

㉛ 授業の感想(21) ㉜ 授業の感想(22) ㉝ 授業の感想(23) ㉞ 授業の感想(24)

㉟ 授業の感想(25) ㊱ 授業の感想(26) ㊲ 授業の感想(27) ㊳ 授業の感想(28)

㊴ 授業の感想(29) ㊵ 授業の感想(30) ㊶ 授業の感想(31) ㊷ 授業の感想(32)

㊸ 授業の感想(33) ㊹ 授業の感想(34) ㊺ 授業の感想(35) ㊻ 授業の感想(36)

㊼ 授業の感想(37) ㊽ 授業の感想(38) ㊾ 授業の感想(39) ㊿ 授業の感想(40)

【課 題】

- ▼教職員に対し、様々な機会を通じて「徳島版予防教育」の内容や効果の周知・啓発を図る。
- ▼各学校の実情に応じた働きかけを行い、「徳島版予防教育」の実践校を増やす。

【事業種別】	相談・支援事業
【準備期間】	1年
【人 数】	2人
【人口規模】	728,633人
【財政規模】	484,428,000千円（一般会計当初予算）
【自治体負担率】	県 1/3 国 2/3（地域自殺対策強化交付金）
【事業対象】	児童生徒及び教職員（小学校・中学校・高等学校）
【支援対象】	児童生徒及び協職員
【委託の有無】	無
【実施主体・問合せ先】	徳島県教育委員会人権教育課 TEL：088（621）3143 Mail:jinkenkyouikuka@pref.tokushima.jp

【参考資料・文献】

- ▼特になし